札幌市下水道科学館リニューアル基本計画（概要）

現状と課題

展示物(ハード)

- 施設の老朽化の進行、災害による被害の増大など、下水道を取り巻く環境の変化や、変化に対する下水道が果たすべき役割などを十分に理解できる展示構成になっていない
- 老朽化が進んでおり、修繕費用が増加している
- ボタンを押して「見る」「聞く」タイプの展示が多く、展示手法が陳腐化
- 展示物が更新されていないため、リピーター確保に支障

運営管理(ソフト)

- 小学生の学習の場として主に活用されており、他の来館者に応じたメニューづくりは積極的に行われていない
- イベント時の集客力は高いが、来館者数は伸び悩み
- イベント開催時に民間会社を活用しているが、更なる民間ノウハウ活用による活性化を期待

課題解決に向けた方向性

展示物（ハード）と運営管理（ソフト）の一体的なリニューアル

方向性１

下水道を取り巻く環境の変化や、果たすべき役割を多くの市民と共有し、正しく知っていただくことが必要。

下水道を身近なものとして実感し、感動を通して、楽しく遊びながら学べる広報施設としての充実を図る

方向性２

下水道施策について、市民の皆様にわかりやすく伝えて、ご意見をお聞きし、事業をよりよいものにしていくことが重要。

わかりやすく伝え、双方向に交流し、下水道施策に反映させる交流施設としての充実を図る

方向性３

学びの対象を広げて、環境教育や社会教育の拠点として、さらなる貢献を目指すことが必要。

市民生活を支え、環境保全に貢献する役割を担う下水道を教育の題材として活用し、環境教育や社会教育の場、また、人材育成の場としての教育施設の役割の充実を図る。

基本理念

基本理念１

子どもから大人まで、体験・感動・実感を通して、楽しく遊んで学ぶことにより**下水道を正しく知ってもらい身近に感じてもらえる**広報施設を目指す。

子どもから大人まで（ターゲット）

ターゲットに応じて展示やイベントを工夫

- ●授業を目的とした先生や小学生の集団グループ
- ●余暇やレジャーを目的とした小学生等のグループ
- ●余暇やレジャーを目的としたファミリー層
- ●深く学ぶことを目的としたグループ

体験・感動・実感

参加・体験型の展示に触れて、感じることで、新たな発見、驚き、感動を実感してもらう。

基本理念２

市民に伝えたいメッセージを分かりやすく伝えて、ご意見をお聞きし、**双方向に交流し話し合える**交流施設を目指す。

市民に伝えたいメッセージ

普及拡大から維持管理へと変化しており、また、自然災害に対する対応、循環型社会への貢献など、下水道が果たすべき大切な役割や環境の変化に対応するため、施策を具体的にわかりやすく伝える。

双方向に交流し話し合える

- ・双方向で交流し話し合える展示物づくりやイベントの開催。
- ・ご意見を聞き、対応する情報発信を通し、施策への理解の向上を目指す。

基本理念３

市民生活を支え、環境保全に貢献し、多くの役割を担う下水道を通して、環境教育・社会教育など広く**学びの場として貢献する**教育施設を目指す。

学びの場

- ・より一層、学校教育に貢献する。
- ・ターゲットに応じたガイダンスづくりを行い、展示物と一体となった見学カリキュラムを作る。
- ・出前講座と連携したメニューづくりや札幌市内にある他の類似施設との関係性を持たせる展示づくりを目指す。
- ・下水道科学館を訪れることにより、知って得した気分となれるよう、さまざまな場面で役に立つ情報の発信を目指す。

具体的な方針

展示物(ハード)

- **ターゲットに応じた展示**
- **下水道の存在意義を感じられる展示**
- **参加型・体験型の展示**
- **ホンモノ志向の展示**
- **インパクトがあり魅力的な展示**
- **市民に伝えたいメッセージをわかりやすく伝える展示**
- **双方向に交流し話し合える展示**
- **学びの場として貢献する展示**
- **いざという時に役立つ情報を発信する展示**

運営管理(ソフト)

- **市と運営管理の担い手と相互連携、民間ノウハウの活用**
- **ターゲットに応じたメニュー、来館者との交流、展示物との連携**